

甘木朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

甘木朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.16 平成17年1月1日発行 第5巻第4号(通巻第16号)

Vol.16

「新年の挨拶」

甘木朝倉介護保険事業者協議会
副会長 平田 克實



「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」私の好きな言葉ですが、唐時代の《劉延芝》という人の言葉だそうです。訪れる季節によって、それぞれの花は今までと同様その姿に精一杯の装いを凝らし、私たちを楽しませてくれます。

花は毎年同じ花ですが、しかし花を愛でる人は毎年同じ人とは限らない。人生の無常をうたった内容でしょうか、それともだからその日その日を充実して生きなければならぬといった意味でしょうか。

さて新年度を迎えますと当協議会の役員も多くの方が交代されます。協議会の目的「利用者の権利をどうしたら保障できるか」を柱として会員研修、情報公開、会員相互の交流等の企画・計画・実施が拡大運営会議、部会などで討議されます。一つの行事をもつためにどれほどの努力がなされているか、また仕事を終えて夜

遅くまで行事に参加される会員の姿を見聞するとき、役員と会員の心をつなげた熱意が伝わってきて本当に頭が下がる思いがいたします。

そして新年度の役員交代、苦労を共にした役員さんの姿が見えないときにはやはり一抹の寂しさを感じますし、新しい役員さんと会えた時には、また新たな希望もわいてきます。別離と出会い、まさに「年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず」の感を深くします。あと少しの任期になりましたが、一期一会の気持ちで頑張りたいと考えています。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康と活躍を祈念して挨拶とします。

事業報告

第2回スタッフセミナー 「介護保険法改正により起こること？」



▲講師 松尾 宗敏先生

平成16年度第2回スタッフセミナーが11月26日(金)18時半より、ピーポート甘木にて開催されました。

社会福祉法人八女福祉会特別護老人ホーム八女の里副施設長、松尾宗敏氏を講師に迎え、「介護保険法改正により起こること？」をテーマに約2時間の講義が行われました。参加人数は297名にのぼり、介護保険制度の見直し時期に伴い、私を含め多数の参加者の関心の高さがうかがえるものでした。

はじめに、「平成16年11月10日全国介護保険担当課長会議資料」から読み取れることについてお話があり、①第1号保険料及び給付費の見直しについて②施設給付の見直しについて③サービスの質の確保・向上について④介護予防について⑤新たなサービス体系の確立⑥制度運営の見直しについて⑦被保険者・受給者の範囲について、の7つのテーマごとに詳細まで説明して頂いたので、大変理解しやすいものとなりました。

なかでも、「今後サービスの質をどうやって確保していくのか？」という点にはとても考えさせられるものがあり、利用者のニーズを捉え、本当に必要なサービスは何か、しっかりと見極めていくことの重要性を痛感いたし

ました。法に定められている以外のサービスは請求してはいけない、つまりは定められたサービスに対してのみ、介護報酬を請求しなければならないということでした。本来ならば、基本であり、当たり前のことなのですが、現在の日本では曖昧になっている部分が多いとの事でした。利用者のニーズをしっかりと把握した上で、そのサービスが適正なものなのか、サービスの提供を行う前に一度考え判断することがサービスの質の向上につながっていくものだと思います。

また、介護保険制度の見直しについては、予防給付の件にもふれてあり、その中でも要支援・要介護1の被保険者の方については介護保険適用外になる可能性が高く、新予防給付制度が確立されるかもしれないとのことでした。新予防給付制度は介護保険制度とは異なり、市町村単位での取り組みとなるため、私たちサービス提供者にとっては、今以上に市町村とのつながりが重要になってくるものと思われれます。今後は今まで以上に地域に密着した高齢化社会のありかたを考えていかねばならないと思いました。

今回のセミナーに参加して、今までを振り返り、そして今後を考えるよい機会となりました。この講義で学んだことを糧に広い視野のもとで考え、行動していきたいと思っております。最後になりましたが、講義をして頂きました松尾氏をはじめ、スタッフセミナーの関係者の皆様へお礼を申し上げます。

(記 広報部 川津季美子)



▲司会 研修部 出水 清治氏

福祉用具選定のためのフィッティング勉強会報告

福祉用具部会長 川上 徳高



▲講師 齋場 三十四先生

開催日時：
平成16年10月21日(木)
13:30~17:00
開催場所：
三輪町働く婦人の家ホール
参加人数:75名
主催:甘木朝倉介護保険事業者協議会福祉用具部会
共催:日本福祉用具供給協会福岡ブロック
協力事業者:九州ホームケアサービス、シルバーメイト、ウェルフェア、スキップ、太陽セランド

協賛事業者:シーホネンス株式会社福岡営業所(特殊寝台)、株式会社モルテン健康用品事業本部(褥瘡予防用具)、ラックヘルスケア株式会社西日本営業課(車椅子)、アロン化成株式会社福岡支店ライフサポート課(入浴・排泄関連)

講師:佐賀大学医学部教授 齋場 三十四教授

第一部テーマ:「北欧に学ぶノーマライゼーションと福祉用具」

第二部テーマ:メーカー及び事業者によるフィッティング研修

第一部内容

齋場教授による、最新の北欧における福祉の動向について、ピクチャーを活用した分かりやすい説明、具体例を交えた講義を受けた。また、北欧と日本における福祉に対する理解の違いを訴えられ、真のノーマライゼーションとは何か、我々専門の立場の者が、共生活感という視点を認識しなければならない点などを強調された。

今後の制度改正のポイントについても、従来の学識者の視点とは角度が違う、齋場流独自の切り口で、一般参加の方々にも理解しやすい内容だった。

講義後の質疑応答には、一般参加の方からの質問に対しても非常に分かりやすく、また、専門職の質問に対しては専門性が高い情報を提供して頂いた。

国内のみならず、海外へと飛び回るお忙しい中での講演参加に参加者全員より多大なる拍手があがり、盛会に講演を終えた。

第二部内容

メーカー4社がそれぞれのブースに分かれ、講義のテーブルについての方をグループ分けしたローテーションで、各々20分ずつのフィッティング研修を実施した。中には熱心すぎて一つのブースから移動せずに、2、3回のレクチャーを受ける人もいた。実際に体験することが非常に重要であり、日進月歩の勢いで変化する業界の動静を肌を感じられたと思う。

今後も各事業者、各メーカーの協力体制について、時間日程を鑑みた勉強会を推進していく事について、閉会後のミーティングで共通認識を持った。

参考資料:アンケート一部抜粋

Q:本日の勉強会のご感想を教えてください。

A:勉強になることが多く有りました。共生活感を持って業務に生活に気づいて行きたいと思います。(看護師)

A:齋場先生のユニークなかつ、共感的なお話で私のこれからの介護への考え方接し方も変わります。頑張っていこうと思う。(看護師)

A:今、姑を介護中です。今日は職業としていらっしゃる方の中での話ですが、家で介護する私にも役立つ話で気持ちの持ち方が今後、一つ変わると思います。(無職)

A:講師の先生には言いたいことを言って頂き、すっきりしました。我が身も反省したいです。器具については出来れば杖について、説明があればと思いました。(作業療法士)

A:先生の講演非常に良かったです。もっと多くのケアに関わる方々に聞いてもらいたかったです。(ケアマネジャー)

A:とても分かりやすく説明をされ、大変勉強になりました。時々こういった内容の研修会に参加し、自己研鑽しながらこれからの業務に頑張っていきたいと思います。(ケアマネジャー)

最後に

甘木朝倉介護保険事業者協議会の会長、副会長をはじめとする役員の皆様、各専門部会長様、会員の皆様、協力事業者様、メーカー様の多大なるご支援のお陰を持ちまして、当勉強会を無事盛会の内に終了することが出来ました事を、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



▲フィッティング研修の様子

介護療養施設部会

部会長 桑野 みゆき

—第32回部会内容—

1. 病床利用率
 - ①太刀洗病院 96.7% (8月)
 - ②甘木中央病院 78.8%(8月) ショートステイ利用者増
2. 拡大運営会議議事報告
3. 問題点の検討
 - ①介護サービス計画書の作成について
(ケアマネ現任研修後のプラン作成経過報告)
 - ・重度介護者が多く意思疎通ができない為、患者の意向や希望を取入れることは困難
 - ・重度介護者のサービス計画はなかなか進まない
(重度介護者でも離床を心掛けている)
 - ②ターミナル患者への対応
介護療養で受入れる問題点
 - ・費用の問題
 - ・急変時の問題
 - 1) 医療への転棟をどうするか
 - 2) どこまでの救命処置を行うか
 - 3) 夜勤における急変時の対応
 - ・入院時(安定期)に主治医と家族で話をしてもらう
 - ・急変時再確認
 - ・スタッフ教育(介護スタッフ)を推進する必要がある
 - ③療養施設部会開催時間について
時間外での検討(各施設で検討し連絡をする)
4. 資料配布及び参照
 - ①介護予防サービス評価研究委員会参考資料から抜粋
 - ・介護予防について
(現状と課題および今後の予防給付イメージ)
 - ・介護保険給付における介護予防のあり方
 - ・廃用症候群(生活不活発病)と「生活機能低下の悪循環」
 - ・生活機能低下予防のためのリハビリテーション戦略シート
5. 次回開催日:平成16年12月15日(水)

第32回開催H16.9.15 全3事業所中2事業所、5名参加

介護福祉施設部会

部会長 石丸 花江

—第13回部会内容—

1. 開会
 2. 資料の確認
 3. 司会、書記:石丸
 4. 協議事項
 - (1) 第5回拡大運営会議の報告について
 - (2) 福祉施設部会下部組織「うぐいす会」
うぐいす会会長より、会の現状報告と今後のあり方についてお願い(伺い)状が届く
- ①パンフレット作成の予算の件
 - ②部会決定事項における最終決定権

(3) その他

- ・台風16号被害状
- ・緊急のショートステイ受け入れ
- ・第三者評価受け入れの件
- ・「介護保険制度改革」懇談会の案内の件

(4) 施設部会 場所割

きらく荘⇒清和園⇒いしずえ荘⇒愛光園⇒宝珠の郷⇒日迎の園⇒朝倉苑⇒朝老園

5. 次回開催日 平成16年10月6日(水)
場所 きらく荘 15時～

第13回部会開催H16.9.1

全8事業所、8名参加

訪問リハビリ部会

部会長 古賀 大亮

—第15回部会報告—

1. 協議事項
 - ・定例会議内容報告
 - ・次年度部会長の件
2. その他
 - ・次回開催:12月6日(月) 香月病院 18:30～
3. 情報交換会
太刀洗病院 P T 楠田氏 訪問介護部会主催の研修会で講師
テーマ:ベッド周辺動作について、在宅でできる体操など
期日:10月22日(金) 18:00～20:00

—第16回部会報告—

1. 協議事項
 - ・次年度部会長選出
平成17年度→香月病院(江上氏) その後は太刀洗病院→医師会病院→甘木中央病院
 - ・呼吸器疾患、難病疾患の方の訪問でSPO2を測定しながら行ってますか?
香月病院:現在訪問対象者いない。院内外来では、SPO2が85%以下にならないようリハを行っている。パルスオキシメーターはデモ機をレンタルし、PT、OT室に常備している。
医師会病院:リハ室に3台、訪問看護にも数台あり。足りない時はお互いに借りている。
 - ・リハ部会での知識勉強会を行ってみては・・・
次回検討
2. その他
 - ・次回開催日:平成17年3月7日(月)
場所:太刀洗病院
3. 情報交換会
 - ・甘木朝倉介護保険事業者協議会記念事業についての報告

第15回部会開催H16.9.21

全4事業所、9名参加

第16回部会開催H16.12.6

全4事業所、9名参加

訪問介護部会

部会長 熊本 恵美子

—第17回部会報告—

グループホーム部会及び訪問介護部会合同研修

1. 内容 移動及び移乗介助の実際
2. 講師 太刀洗病院 理学療法士 楠田 智仙氏
3. 研修の実際
講師がモデルを使って、介助のポイントを実際に指導
①各グループに分かれ、講師の説明を元に各自モデルと介助者になり、実技研修を行った。
②日頃介助している方法との違いや、訪問する利用者によっては狭い部屋の中なので、ベットの位置が基本と反対になるので、介助しにくい事等いろんな意見が出ていた。
4. 研修を受けての感想
日頃行っている介助動作が安全安楽に出来ているか、利用者に不安を与えていないかなど、今一度考える良い機会であったという感想が多かった。
5. 次回開催 グループホーム部会
平成17年1月12日
訪問介護部会 平成17年2月15日

訪問介護第17回開催 全12事業所中9事業所、31名参加
グループホーム第7回開催 全6事業所中4事業所、18名参加

訪問看護部会

部会長 空閑 優子

—第24回部会内容—

1. 報告事項
9月拡大運営会議内容
2. 訪問看護師の役割と責任
かかりつけ医師の判断にて他科受診する場合、訪問看護師から受診先への情報提供も必要。
3. 訪問患者の定期検査
半年又は、年に1度かかりつけ医師のもとでレントゲンや心電図、CT検査など施行したほうが良いのではないかと、あくまで、患者や家族からも要望があればだが・・・
医師との検討事項とする。

第22回開催H16.10.12 全3事業所、3名が参加

グループホーム部会及び訪問介護部会 合同部会に参加して

JA筑前あさくら 元気プラザ
ホームヘルパー 池田 武都子

さる、10月22日グループホーム部会および訪問介護部会合同研修会に参加させていただきました。太刀洗病院の楠田智仙先生より熱心に教えていただきまして、多くの介護に熱心な方の研修会でした。

自立の為の介助を心掛け、動作の中で出来る部分は本人に出来る限り実行させ、出来ない部分のみ介助し、安全で恐怖心を抱かせない介助を心掛けることが最後の言葉でした。私も脳梗塞で半身麻痺の父を5年程自宅で介護し、今さらながら思い出して再確認致しました。このような勉強会に参加させていただき、本当によかったと思います。ありがとうございました。



うぐいす会の報告

介護老人福祉施設部会
うぐいす会 会長 岡田 学

私ども「うぐいす会」は、甘木朝倉介護保険事業者協議会をはじめ、介護福祉施設部会の協力により、平成16年6月から新しく施設職員の資質向上を図る目的で介護福祉施設部会の中に新部会として発足しました。この結成された部会の名前は、甘木朝倉のシンボルの鳥が「うぐいす」ということで、これから先、地域福祉創作に羽ばたいていくという意味合いの基で「うぐいす会」と名づけました。会員は現在15名です。

この、「うぐいす会」は、これからの甘木朝倉8施設を盛り立てていくためには、介護老人福祉施設の下部組織を中心に現在の施設における実態把握及び現場からの意見を収集、議論し、サービスの課題、それらの改善案、方向性を確立するとともに、事業者の資質向上、ネットワーク化、サービス提供の推進等の目的を遂行していく為にも役員間での「共有化」「周知化」等が、ますます必要になっていくと考えており、今後の甘木朝倉8施設の福祉サービスにおける「利用者本位」の施設創りに積極的に取り組んでいく決意であります。

最後に私ども一同は、介護福祉施設部会の一定の役割を与えられた団体として、今後共、会員一同頑張っております。皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

「設立4周年記念事業の開催のお知らせ」

今年度の協議会設立4周年記念公開事業は「介護フェスタ'05inあさくら」と題して、朝倉町民センターにて開催します。メインイベントとしては、九州交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏を開催することにしています。開催日時は、**平成17年1月22日(土)**、午後6時00分より、会場は朝倉町民センターにて。特設コーナーにて高齢者の作品展、アテネパラリンピック写真展、福祉用具展示、介護相談を行います。会員の皆様はふるって参加してください。

甘木朝倉介護保険事業者協議会 設立4周年記念公開事業

介護フェスタ'05 in あさくら

～今 心ゆたかに幸せな時を～



～新春 クラシックの夕べ～

《と ころ》 朝倉町民センター【朝倉町役場西側】

《と き》 2005年1月22日(土)

開場17:30 ・ 開演18:00

入場無料

○開会式
○訪問系事業所紹介
○地域ボランティア団体による演目
*ハンドベル演奏:大福小学堂クラブなかよし
*ひよこりひよこらんぐ:宝珠の聖園員
*「堀川物語」朗読と手話合演:朝倉町婦人会
*介護劇:いしずえ狂言

特設コーナー 13:30～19:00

- ・介護食の美演・福祉用具の展示
- ・高齢者作品展・介護相談コーナー
- ・パラリンピックアテネパル写真展(予定)

九州交響楽団のメンバーによる
弦楽四重奏

出演者 Performer

第一ヴァイオリン.....小野田敦子
第二ヴァイオリン.....南 宗葉
ヴィオラ.....山下 典史
チェロ.....市 博成

プログラム Program

エルガー / 愛のあいさつ
モーツァルト / テイベルマンK.136
ドビュッシー / G線上のアリア
ハチャトゥリアン / ガラン
日本の歌より / 七つの子
映画音楽より / ムーンリバー
ディズニー映画より / 星に願いを
サウンドオブミュージックメドレー 他

*プログラムは変更になる場合がございます

主催/甘木朝倉介護保険事業者協議会 共催/朝倉町 後援/福岡県・甘木市・朝倉郡町村会
 お問い合わせ 介護老人福祉施設 いしずえ荘 TEL(0946)52-1144

編集後記

新年を迎え、皆様益々ご多忙と存じますがいかがお過ごしでしょうか。1月22日には設立4周年記念事業が朝倉町町民センターにて行われます。会報でもお知らせしていますが皆さんもぜひ九州交響楽団のメンバーによるクラシックをお聞きください。

なお、会報についてご意見ご要望等がございましたらご遠慮なく広報部までお寄せください。(秀)

事務局

甘木朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0815 福岡県朝倉郡三輪町大字野町2226-3
介護老人福祉施設 朝倉苑内
TEL (0946)22-2881 FAX (0946)24-8322

編集 / 発行所

甘木朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-0069 福岡県甘木市大字来春6-2
社団法人 甘木朝倉医師会 ヘルパーステーション内
TEL (0946)21-0066 FAX (0946)21-0012

印刷/井上総合印刷株式会社